

## 平成24年度における施策評価

## 施策評価調書

政策コード	7	政策名	国際社会における人材育成や地域の国際化の推進			
施策コード	1	施策名	国際交流の推進と多文化共生社会の構築			
幹事部局コード	2	幹事部局名	企画振興部	担当	国際課	
評価者・実施日	1次評価（企画振興部長）		平成23年8月2日			

## 1 施策の方向性（必要性と目的）

県民の国際理解を増進するとともに、外国人の相談機能の充実、わかりやすい情報の提供や日本語学習の促進により、県民と外国人がお互いに文化や考え方を理解・尊重し、外国人も安心して暮らすことのできるまちづくりを推進する。

また、東アジア交流時代を見据え、中国、ロシアなどを重点地域とし、多様な国際交流を推進する。

## 2 施策の状況

## (1) 施策目標及びその達成状況

●施策目標(評価指標)		基準値	年度	H22	H23	H24	H25	備考
		年度						
①	国際理解講座の参加者数	10,324	目標値	11,500	12,000	12,500	13,000	
		H21	実績値	10,624	10,182			
	国際課調べ	—	達成率	92.4%	84.9%			
②	県内高等教育機関の留学生数	324	目標値	—	410	430	450	
		H21	実績値	414	387			
	秋田地域留学生等交流推進会議調べ		達成率	—	94.4%			
達成度		—		D	D			

達成度 A:「全て達成」 B:「半分以上達成」 C:「達成が半分未満」 D:「全て未達成」 E:「その他」

## (2) 施策の推進状況

## ①国際理解の推進と多文化共生社会の構築

## ■取組内容

- 「あきた国際化フェスティバル」など県内外国人と日本人が交流するイベントを開催したほか、県内各地に国際交流員を派遣し、市町村等が開催する国際理解講座を支援した。
- 外国人に日本語を教える指導者を養成する日本語教育指導者養成講座及び日本語ボランティアの研修会を計9回開催した。
- 災害時に被災した外国人を支援する体制を構築するために語学ボランティアを集めて研修会を実施した。
- 在住外国人の県内での生活をサポートするために（財）秋田県国際交流協会内に「秋田県外国人相談センター」を設置したほか、地域外国人相談員9名を県内各地に配置し、相談業務の充実・強化を図った。

## ■取組の成果

- 国際理解講座への参加者数は、東日本大震災の影響もあり目標に届かなかったものの、平成19年度から5年連続して延べ1万人を超えており、県民の国際理解は着実に増進されている。
- 日本語教育指導者養成講座の受講者が外国人への日本語教育を通して、県内各地域で外国人の生活支援にも当たっており、多文化共生社会構築の要となり活動した。
- 「秋田県外国人相談センター」への外国人からの相談件数が238件、地域外国人相談員への相談件数が372件である。相談体制の構築により、在住外国人が地域で安心して生活できる環境の整備が図られた。

## ■課題と今後の推進方向

外国人が日本人と変わらずに県内で生活できる多文化共生社会を構築することが、外国人の定住・交流人口を増やすことにつながり、本県の活性化にも寄与するものと考えられる。そのためには、県民の国際理解を進めるとともに、外国人の生活相談や情報提供機能の充実を図る必要があり、これまでの取組を継続して実施していく必要がある。

## ②重点地域をターゲットにした多様な国際交流の推進

### ■取組内容

○友好協定を締結している中国甘肅省から国際交流員や海外技術研修員を受け入れるとともに、甘肅省訪問団を派遣し、平成24年度の友好提携30周年を期とする交流内容の充実について協議した。

○中国天津市に実務協議団を派遣し、今後の交流の方向性について協議した。また、同市での商談会への県内企業の参加支援など経済交流を進めた。

○平成22年3月に友好協定を締結したロシア沿海地方から医療関係者、農業関係の技術者を本県に招致し研修を実施した。また、同地で本県企業が参加しポートセールスを実施した。

### ■取組の成果

○中国甘肅省とは、副知事と副省長間で友好協定30周年記念事業等に係る合意書に調印し、記念行事等を協力して実施することや、経済・産業分野など新たな分野での交流可能性について検討することで合意した。

○中国天津市とは、平成24年度中に「友好協定締結に向けた協議書」を締結することで合意し、経済交流などを大きく展開できる基盤づくりを進めた。

○ロシア沿海地方とは、農業、医療分野での交流やポートセールス活動を足がかりに、経済交流を推進するための基盤形成が図られた。

### ■課題と今後の推進方向

中国甘肅省及び天津市、ロシア沿海地方などの重点地域それぞれの特色を踏まえた交流を実施していく必要がある。また、交流の成果が最大限上がるように、毎年度取組内容を検証し、見直しながら継続して取り組んでいくことが重要である。

## 3 評価

### (1) 施策幹事部長による1次評価

評価結果	●施策の推進状況
	<p>①国際理解の推進と多文化共生社会の構築 国際理解講座の参加者数は、東日本大震災の影響で6月頃まで事業が停滞した関係もあり、大きく伸長しなかったものの、前年度並を確保しており、多文化共生社会の構築に向けて、秋田県外国人相談センターを立ち上げるなど、相談体制の充実・強化が図られた。</p> <p>②重点地域をターゲットにした多様な国際交流の推進 中国甘肅省とは友好提携30周年記念事業に向け合意書を締結し、中国天津市とは平成24年度中の協議書締結に向けて事前協議を進めた。また、ロシア沿海地方とは医療分野、農業分野での具体的な交流が進められるなど、取組は概ね順調である。</p>
概ね順調	●課題と今後の推進方向
	<p>①国際理解の推進と多文化共生社会の構築 国際理解講座について、様々なメディアを利用するなど県民への開催情報の周知方法を工夫したい。また、平成23年5月に(財)秋田県国際交流協会内に設置した「秋田県外国人相談センター」を拠点に、外国人相談・情報提供機能の更なる充実に努める。</p> <p>②重点地域をターゲットにした多様な国際交流の推進 中国甘肅省とは、平成24年度の友好提携30周年を期に、これまでの交流実績を踏まえ新たな展開を検討する。中国天津市、ロシア沿海地方とは、それぞれ協議書、友好協定書に基づき経済分野などにおける着実な交流を進める。</p>

### (2) 企画振興部長による2次評価

評価結果	●施策の推進状況
	●課題と今後の推進方向

## 4 評価結果の反映状況等 (対応方針)

--

## 5 政策評価委員会の意見

--